

令和3年6月9日

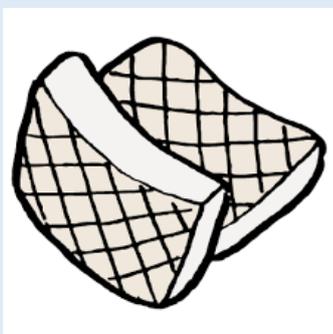
## 【考えた語りは聴きたくなる】



本校の今年度の重点活動の1つである「語り」（まあ、わたくしのほんのこだわりで「語る」ではなく「語り」ではありますが）。授業はもちろん、あらゆる学校生活の場面で子どもたちが自分の思いや、考えを語れる機会を設

けるようにしています。

例えば、昼の放送で給食委員さんが「今日のお肉は豚肉です。お肉には、いのしし肉や、鹿肉などありますが、今日のお肉は豚肉なので食べられそうでよかったです」放課後の放送で「今日、ぼくは1年生の反復横跳びの手伝いをしました。1年生が6年生になってぼくの記録が抜かされないか心配です」などなど。子どもたちは何を言うのかを考えて語ってくれています。そして、こんなふうに分の思いや考えが聞こえてくると、不思議なもので思わず聴いてしまいます。



いかのしょうがやき

先日、給食に「いかのしょうがやき」が出ました。A先生が「今日、Bさんがほっぺたを膨らませて私のところに来て『先生、これ、いつ飲み込めばいいの?』と訊いてきたんです。ほっぺにはイカが入っていたんです。なんかかわいいなあと思って」と話してくれました。

学校のイカはイラストのように少し厚みがあります。一生懸命食べようと口の中に入れたのはいいのですが、なかなか噛み切れなかったのでしょうか。そして、飲み込むタイミングがつかめなくて先生に相談に行ったのですね。

子どもたちにとって、給食にも越えなければいけない壁があるとは……。

学校は至る所が修行の場なのです“にん”(\*^^)v

